

## 国土交通省が主導する、 日本全国の 3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化 プロジェクト 『PLATEAU』



国土交通省が主導する、日本全国の 3D 都市モデルの整備・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU」から抜粋、編集  
<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

### ■『PLATEAU』とは

PLATEAU は、国土交通省が主導する 3D 都市モデル整備・活用・オープンデータ化プロジェクトです。

都市活動のプラットフォームデータとして 3D 都市モデルを整備し、様々な領域でユースケースを開発しています。

さらに、誰もが自由に都市のデータを引き出せるようにすることで、オープン・イノベーションを創出していきます。

フランス人哲学者のジル・ドゥルーズと精神分析家フェリックス・ガタリの著書「千のプラトー | Mille PLATEAUx」では、はじめでも終わりでもない精神の結節点をプラトーと呼びます。一つの頂上を目指す統一的構造ではなく、多様で自律・分散的なシステムが平面的に接続・連続することで強靱性を獲得していく哲学的な実践であるとされています。

3D 都市モデルが社会に無数の結節点を提供し、これを契機にあらゆる分野がサイバー空間を介して相互につながり発展していく—— PLATEAU というネーミングには、自律的で強靱な世界の発展への期待が込められています。

### Project PLATEAU の3つのテーマ

#### I. データ整備の効率化・高度化

従来の 3D 都市モデル標準仕様を更に拡張し、土木構造物や水面、動的データ、点群などの新たなオブジェクトを PLATEAU に取り込みます。また、データ整備の効率化を実現するため、AI 等を活用した自動生成ツールの開発・OSS 化等にも取り組みます。

##### ●データ仕様の拡張・緻密化・標準化

###### 【ゴール】

OGC CityGML2.0 に基づく日本ローカライズ版標準仕様 (PLATEAU 標準) を拡張し、対象オブジェクトを拡大することで、より精緻なデジタルツイン構築を実現。

###### 【アクション】

- ・未定義オブジェクトのデータ作成実証及びこれに基づく PLATEAU 標準仕様の拡張
- ・3D 都市モデルを効率的に整備するための測量マニュアルの改善・普及
- ・3D 都市モデルと都市計画 GIS の互換性確保のための都市計画 GIS 標準仕様の検討

##### ●モデル作成・測量手法のルール化、更新手法の確立

###### 【ゴール】

3D 都市モデル LOD2 の整備を効率的・低価格化するための技術を確立することで、地方公共団体のデータ整備拡大を後押し。

###### 【アクション】

- ・AI 等を活用した LOD2 自動生成ツールの開発・OSS 化
- ・クラウドソーシングデータ、BIM モデル、地方公共団体が保有する各種台帳データ等の多様なデータソースを活用した 3D 都市モデル整備・更新手法の確立。





## II. 先進的なユースケース開発

防災や環境、まちづくり、コンテンツ、モビリティ等の多様な分野で先進技術を活用した 3D 都市モデルのユースケース開発を実証し、ベストプラクティスの創出と全国展開を目指します。

### ●ユースケース開発の社会実装/民間市場形成

#### 【ゴール】

先進技術を活用した 3D 都市モデルのユースケース開発を実証し、ベストプラクティスの創出と横展開を図ることで、官民の多様な分野におけるユースケースの社会実装を推進。

#### 【アクション】

- ・社会課題解決型 ユースケース開発 / 民間サービス創出型 ユースケース開発
- ・防災・防犯 / 環境・エネルギー / 都市計画・まちづくり / 地域活性化 / 観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス



## III. データ・カバレッジの拡大

2022 年度から新たにスタートする地方公共団体による 3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の補助制度の活用などにより、データ・カバレッジの拡大を進めます。PLATEAU VIEW の改修、オープン API や SDK 開発、ハッカソンの開催等、データ利用環境の改善に取り組めます。

### ●整備・活用ムーブメントの惹起

#### 【ゴール】

地方公共団体による 3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を支援することで、3D 都市モデルの社会実装を推進。

#### 【アクション】

- ・地方公共団体における 3D 都市モデルの整備・活用を支援（都市空間情報デジタル基盤構築支援事業）
- ・オープンデータ化を推進するためのリーガル面の論点整理等

### ●活用をサポートするためのアイデア・知見・技術の提供

#### 【ゴール】

官民の多様なプレイヤーがデータに触れ、活用しやすい環境を整備することで、3D 都市モデルのケイパビリティを強化し、オープン・イノベーションを創出。

#### 【アクション】

CMS 等の新たな機能を付加するための PLATEAU VIEW 改修  
Unity 等のゲームエンジンで利用可能な SDK 等の開発  
技術チュートリアルの実施、ハッカソン等の開催

## まちづくりのデジタル・トランスフォーメーション実現会議

国土交通省では「まちづくりのデジタル・トランスフォーメーション実現会議」を設置しました。本会議では、都市政策のあらゆる領域で DX を推進し、人口減少・少子高齢化の下で豊かな生活、多様な暮らし方・働き方を支えるサステナブルな都市—「人間中心のまちづくり」を実現するためのビジョンの検討を行いました。

#### ○委員

出口 敦 氏 東京大学大学院 社会文化環境学専攻 教授  
古橋 大地 氏 青山学院大学 地球社会共生学部 教授  
瀬戸 寿一 氏 駒澤大学 地理学科 准教授  
吉村 有司 氏 東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授

齋藤 精一 氏 パノラマティクス 主宰  
水野 祐 氏 シティライツ法律事務所パートナー  
重松 真理子 氏 (一社)大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 都市政策・ガイドライン部会長  
若井 太郎 氏 東京都 デジタルサービス局 データ利活用担当部長  
宇野 善昌 氏 国土交通省



#### 銀座・ビルエネルギー研究会事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2 丁目 14 番 2 号

東京電力エナジーパートナー株式会社

販売本部 東京本部 営業総括グループ内 編集発行人 篠原

TEL:050-3090-4261 FAX: 03-5361-2796

<http://www.ginza-birueneken.com>